

アイムポッシブル  
**国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版  
中学生・高校生版第三弾を約17,000校へ無償配布  
全教材がダウンロード可能  
～パラリンピアン・木村敬一選手が教材に登場～**

この度、I'mPOSSIBLE日本版事務局(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンター)は、国際パラリンピック委員会(IPC)公認学校教材『I'mPOSSIBLE』日本版の中学生・高校生版第三弾を発行いたします。本教材は、全国の中学校・高等学校・特別支援学校など約17,000校、並びに各都道府県・市区町村の教育委員会約1,800か所へ無償配布されます。また、過去に配布した教材も含め、全教材がWEB上で無料公開されます。

『I'mPOSSIBLE』日本版は、パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに促す教材で、アギトス財団※1が開発した『I'mPOSSIBLE』国際版をもとに、日本国内の教育現場で使いやすいように再編集したものです。2017年より小学生版、2018年より中学生・高校生版を、毎年無償で配布してきました。指導案、映像資料DVDなど、授業の実施・計画に必要なものが全て入っており、パラリンピックについて知識が浅い教員でもすぐに授業を行うことができるのが特長です。

※1アギトス財団とは国際パラリンピック委員会(IPC)の開発を担う機関

＝ 記 ＝

【配布教材】 国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版 中学生・高校生版第三弾

【配布対象】 全国の中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校、専修学校高等課程(国公立)、並びに各都道府県・市区町村教育委員会

【配布時期】 2020年6月15日(月)より順次発送

【今回配布する教材の内容】

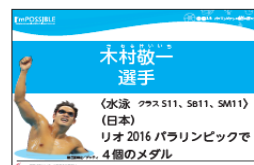
■1-5 パラリンピアンの日常生活からバリアフリーを考える

障害のある人が日常で経験するさまざまなバリア(障壁)を題材にしたマンガに基づいて、グループで意見交換します。物理的なバリアだけでなく、先入観や思い込みなど自分の内にあるバリアについても考えることができるユニットです。



■2-8 パラリンピアンの魅力に迫ろう！

2人のパラリンピアンについてドキュメンタリー映像(株式会社WOWOW提供)から得たイメージを元に、選手の持ち味を表現できるようなCMをグループで企画するユニットです。



※使用している映像は、国際パラリンピック委員会(IPC)とWOWOWの共同プロジェクトとして2016年にスタートし、東京パラリンピック開催を見据え世界最高峰のパラアスリートに迫る、パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ『WHO I AM』を再編集したものです。

【メディア様からのお問い合わせ】パラサポPR事務局あて

E-mail: parasapo@vectorinc.co.jp/FAX: 03-6685-5265/TEL: 03-6821-7863

※こちらは報道関係者様からのお問合せ先となっております。学校関係者様または一般からの教材に関するお問合せ先は3ページ目をご参照ください

## 【資料①】

『I'mPOSSIBLE』について

### 【アギトス財団(Agitos Foundation)とは】

国際パラリンピック委員会の開発を担う機関で、組織名はパラリンピックのシンボルであり、「私は動く」という意味のある「アギト」に由来します。2012年8月に創設されて以来、全ての人にとってのインクルーシブ社会の構築に貢献するため、パラスポーツの発展を国際的にリードする機関として活動しています。

### 【『I'mPOSSIBLE』国際版について】

学校教育を通じたパラリンピックムーブメントへの意識向上による共生社会の促進を目的として、アギトス財団が開発した世界中で使用できる教材です。教材の名前『I'mPOSSIBLE』は、「不可能(impossible)だと思えたことも、考え方を変えたり、少し工夫したりすればできるようになる(I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められた造語です。

2020年5月現在、日本を含め36か国がプログラムの実施に向け、IPC・アギトス財団と同意書を交わしています。

### 【『I'mPOSSIBLE』日本版について】

パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに促す教材です。国際版教材の内容をもとに、日本の教育現場での活用のしやすさを考慮して、I'mPOSSIBLE 日本版事務局と公益財団法人ベネッセこども基金が共同で、日本語版教材を開発しました。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の東京2020教育プログラム「よい、ドン！」のパラリンピック教材としても位置付けられ、東京2020教育プログラム特設サイトからも、本教材のデータをダウンロードできます。



### 【普及について】

#### ■ 全国の小・中・高・特別支援学校など約36,000校へ無償配布

全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校約36,000校(国公私立)に配布してきました。2019年から、義務教育学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程にも送付しています。

2017年4月 小学生版第一弾配布

2018年6月 小学生版第二弾、及び中学生・高校生版第一弾の配布

2019年5月 小学生版第三弾、及び中学生・高校生版第二弾の配布

2020年6月 中学生・高校生版第三弾の配布

#### ■ 教員・関係者研修を実施

I'mPOSSIBLE 日本版事務局では、都道府県・市区町村の教育委員会からのリクエストに応じ、研修講座を開催しています。

『I'mPOSSIBLE』の紹介や内容、パラリンピック教育の意義などをわかりやすく説明し、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を展開するためのアイデアなどを提供しています。また実技研修を行うことも可能です。

2019年度までに、全国各地115件9,723人に受講いただきました。

### 【『I'mPOSSIBLE』日本版の特長】

・子どもの興味・関心を引き出し心に届く内容

映像や資料を使った座学とパラリンピックスポーツ体験による実技で構成されています。設問やグループワークを通して、興味関心・好奇心を引き出し、論理的思考力や問題解決能力を伸ばす機会を提供しています。

・必要な素材・情報がすべてそろったパッケージ

パラリンピックの基礎知識などをまとめた「教師用ハンドブック」、授業の進め方を記載した「教師用指導案」、授業で使用したり実技授業の進め方を確認したりできる映像資料など、授業の準備・実施に必要なものが全て入っています。

・授業に組み込みやすい設定

テーマごとに「ユニット」が分かれており、各ユニットは、小学生版45分、中学生・高校生版50分で完結する構成になっています。1コマのみの使用はもちろん、資料や例題の一部、映像だけを使用すること、複数を組み合わせることも可能です。クラスの状況に応じて、総合的な学習の時間・総合的な探求の時間・特別の教科 道徳・体育・特別活動・学活などで授業展開が可能です。



## 【教材内容】

これまでに制作されたものを合わせて、小学生版、中学生・高校生版ともそれぞれ全14授業分（一部教材はWEBサイト上のみ掲載）のユニットがございます。各ユニットは独立しており、順序に関係なく、自由に選んで使用することができます。

### テーマ1：パラリンピックの価値

No.	タイトル(小学生版)	配布時期
1-1	パラリンピックってなんだろう？	2017年
1-2	パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう？	2018年
1-3	公平について考えてみよう！	2018年
1-4	パラリンピックについて学習したことを振り返ってみよう！	2018年
1-5	パラリンピアンが学校に来るとしたら	2019年

タイトル(中学生・高校生版)	配布時期
パラリンピックってなんだろう？	2018年
「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（香西宏昭選手 編）	2019年
「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（村岡桃佳選手 編）	2019年
「公平」について考えてみよう！	2019年
<b>パラリンピアンの日常生活からバリアフリーを考える</b>	<b>今回配布</b>

### テーマ2：パラリンピックスポーツ

No.	タイトル(小学生版)	配布時期
2-1	パラリンピックスポーツについて学ぼう！	2017年
2-2	シッティングバレーボールをやってみよう！	2017年
2-3	ゴールボールをやってみよう！	2017年
2-4	ポッチャをやってみよう！	2018年
2-5	ガイドランナーを体験しよう！	2018年
2-6	ブレードランナーの活やくからみえること	2019年 WEB 公開
2-7	パラバドミントンをやってみよう！	2019年 WEB 公開
2-8	パラリンピアンを応援しよう！	2019年

タイトル(中学生・高校生版)	配布時期
パラリンピックスポーツについて学ぼう！	2018年
シッティングバレーボールをやってみよう！	2018年
ゴールボールをやってみよう！	2018年
ポッチャをやってみよう！	2019年
ガイドランナーを体験しよう！	2019年
ブレードランナーの活やくからみえること	2019年 WEB 公開
パラバドミントンをやってみよう！	2019年 WEB 公開
<b>パラリンピアンの魅力に迫ろう！</b>	<b>今回配布</b>

### 東京 2020 スペシャル

No.	タイトル(小学生版)	配布時期
	東京 2020 パラリンピックを楽しもう！	2019年

タイトル(中学生・高校生版)	配布時期
東京 2020 パラリンピックを楽しもう！	2019年

## 【公式サイト】

教材の特長、活用事例などを紹介しています。

国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版公式サイト：

URL：<https://www.parasapo.tokyo/iampossible/>

教材ダウンロード：東京 2020 教育プログラム特設サイト「TOKYO 2020 for KIDS(学校・教育関係者向け)」

URL：<https://education.tokyo2020.org/jp/teach/texts/iampossible/>

## 【教材に関するお問い合わせ】

I'mPOSSIBLE 日本版事務局

(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンター)

担当：後藤・上野

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階 日本財団パラリンピックサポートセンター内

TEL: 03-6229-5404 / FAX: 03-6229-3722

Email: [iampossible@parasapo.tokyo](mailto:iampossible@parasapo.tokyo) (※お問い合わせは原則メールでお願いいたします。)

## 【資料②】

IPC & WOWOW 『パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ 「WHO I AM」』について

WOWOWと国際パラリンピック委員会(IPC)の共同プロジェクトとして、リオパラリンピックが開催された2016年にスタートし、東京パラリンピック開催を見据え、世界最高峰のパラスリートに迫る大型シリーズ。現在、シーズン1～4の全32作品がWHO I AM公式サイトで無料配信されています。同シリーズは放送だけにとどまらず、配信・上映・海外アスリート招聘イベント、企業とのコラボレーション、コミック化、書籍化、リアルイベントの立ち上げなど、映像を基軸とした幅広いプロジェクト展開に取り組んでおり、今回の教材への活用もその一環となります。

今回は、シーズン1にて放送をおこなったタチアナ・マクファデン選手(アメリカ/陸上)、シーズン3にて放送をおこなった木村敬一選手(日本/水泳)の映像が活用され、教材「パラリンピアンの魅力に迫ろう！」(授業No.2-8)として、今年度は6月15日(月)から中学生・高校生版として全国の中学校・高等学校・特別支援学校など約17,000校、並びに各都道府県・市区町村の教育委員会約1,800か所へ無償配布されます。



WHO I AM番組公式サイト <http://wowow.bs/whoiam>

WHO I AM プロジェクトサイト <https://corporate.wowow.co.jp/whoiam/>